

科目名	情報処理演習 Exercises in Computer Programming	科目コード	11350
-----	---	-------	-------

学科名・学年	機械工学科・3年
担当教員	金子 健正, 工藤 慈 (機械工学科)
区分・単位数	履修単位科目・必履修・1単位
開講時期・時間数	前期, 30時間【内訳: 講義 6, 演習 24, 実験 0, その他 0】
教科書	結城浩, 「新板 C 言語プログラミングレッスン 入門編」, SBクリエイティブ, 2006年
補助教材	プリント
参考書	平林雅英, 「新 ANSI C 言語辞典」, 技術評論社

【A. 科目の概要と関連性】

第2学年の「情報処理」に続いて、C言語のプログラミングを学習する。さらに、グループワーク形式での演習およびレポート作成を通して、単にプログラムを作成するだけではなく、他人の作成したプログラムを理解する能力（読解力）、他人にも理解できるようなプログラムを作成する能力（可読性）、プログラムの仕様・動作をレポートとして文章にまとめる能力、プレゼンテーションなどを通して他人に説明する能力を養う。

○関連する科目：情報処理（前年度履修）、数値解析法（次々年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(C)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①基礎 C プログラミングを習得する	10%	(c1), (d1)
②可読性のあるプログラムの作成能力を習得する	30%	(c1), (e2)
③プログラムの読解力を習得する	30%	(c1), (e2)
④プレゼンテーション能力を習得する	30%	(b2)

【C. 履修上の注意】

第2学年で履修した情報処理の継続科目であるので、よく復習してから受講すること。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- 定期試験 (0%) 【内訳: 前期中間 0, 前期末 0】
- その他の試験 (0%)
- レポート (100%)
- その他 (0%)

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	グループワーク形式での演習 1	
2		
3		課題提出 1 回目
4	構造体	
5	グループワーク形式での演習 2	
6		
7		課題提出 2 回目
8	ファイル操作	
9	グループワーク形式での演習 3	
10		
11		課題提出 3 回目
12	グループワーク形式での演習 4	
13		
14		課題提出 4 回目
15	演習課題についての講評と発展授業	